

【目的】 「住民から寄せられた意見を実現させるしくみ」を学ぶ

- ・住民懇談会、各種団体との意見交換会から寄せられた意見をどう政策実現に結びつけるのか取り組みを研究する。

会津若松市議会、松本市議会ともに政策形成のサイクルにおいて類似点が見られた。

ア 意見交換会の開催

イ 出された意見をもとに政策テーマを決定

ウ 政策テーマの検討機関として政策討論会を設置

エ 一般質問、委員会審査などで議論を深める

オ 執行機関に提言する

○松本市議会の取り組み

①政策討論会

- ・常任委員会を単位に政策討論会を設置しテーマを設定する。
- ・閉会中は、本会議で議決して所管事務調査として取り扱う。
- ・住民懇談会、各種団体との意見交換会から寄せられた意見をもとに、参考資料を作成、政策実現に結びつけている。一般質問での活用も見られる。

②ステップアップ市民会議

- ・市議会等の運営に関して、市民からの意見や提言を的確に把握するため設置。
- ・委員は10名で公募5名、各種団体から5名。異なる意見を出してもらいたいので属性に偏りが出ないように各種団体からも選出。
- ・テーマは実効性のあるもの、政策討論会に即したものを議会運営委員会で決定する。
- ・提言を受け、子ども向けの議会だよりを発行するなどの成果。

③請願者・陳情者の意見陳述について

- ・委員会審査では、提出者が希望する場合、趣旨説明を行うことができる。
- ・趣旨説明の希望は、請願の提出時に確認する。
- ・提出者は、委員から質問を受ける。
- ・費用弁償はない。
- ・執行部も出席して委員から質問を受ける。

④自由討議

- ・質疑、自由討議、討論の違い

「質疑」 議員が議案提出者に疑問点を質問すること。

「討論」 議案に対して賛成か反対か表明すること。

「自由討議」 ある論点について、議員同士で意見交換すること。

合意：提言、修正、附帯決議など

合意できず：委員長報告にて討議内容を報告

- ・委員会審査では、委員長が自由討議を宣告すれば行うことができる。

## ☆所 感

- ・「テーマは実効性のあるものを選ぶ」との方針が印象的でした。
- ・実際、市民からの提言をきっかけに「子ども向け議会だより」の発行、高校生との交流事業をきっかけに高校生から請願が提出されるなど成果に結び付いていました。

## ○会津若松市議会の取り組み

### ①市民から意見を吸い上げる

- ・意見交換会（15地区に分けて、年2回開催）
- ・分野別意見交換会（各種団体との懇談会）

⇒広報・公聴委員会で意見の整理・検討

### ②政策討論会の開催

- ・常任委員会を単位として政策討論会を設置。
- ・意見交換会から出た意見をもとに取り組むテーマを決め、「論点抽出表」を作成。

### ③定例会

- ・委員会審査において論点抽出表をもとに質疑。
- ・委員間で自由討議を行い、合意形成を図る。  
「○○を論点に各委員に意見を求めます」  
「まず初めに論点を明確にする。  
「委員会としては▲▲すべきと考えます」

- ・討論

- ・採決

### ④提言を行う

### ⑤最終報告書

## ☆所 感

- ・年間のテーマ設定が大事だと感じた。意見交換会もテーマをきちんと設定しないと要望が主になり建設的な議論が深まらなかったとのこと。
- ・総合計画を意識して市の政策を評価する。  
市議会の議決事項である総合計画を意識して、計画からそれていないか、計画にな  
いことをやっていないか、常にチェックしていると強調されたのが印象的でした。